

令和7年度 畜産関係新技術発表会開催要領

趣 旨

近年における畜産を取り巻く情勢変化を的確に捉え、将来に渡って安定した畜産経営を維持し、消費者に安全で安心な畜産物の供給を推進していくためには、新しい技術開発等の情報収集に加え、効率的かつ実用的な技術革新が強く求められています。

本発表会では、関係機関・関係団体と緊密な連携のもと、道内の試験研究機関等が開発した新技術および研究成果を紹介することにより、速やかな技術の普及と定着を目指します。

主 催 北海道畜産技術連盟、一般社団法人 北海道酪農畜産協会

後 援 北海道農政部、日本農業新聞北海道支所

開催日時 令和8年2月20日（金）10：10～16：30

開催場所 札幌市北農ビル19階第2・3・4会議室
(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)

発表課題 北海道が「令和8年普及奨励、普及推進並びに指導参考事項」として決定する畜産関係技術を中心に、普及効果が大きいと認められる課題

特別講演 講師 廣岡 博之 氏
(京都大学大学院農学研究科 名誉教授)
演題：肉用牛における育種改良目標とゲノム情報の利用

令和7年度畜産関係新技術発表会プログラム

1. 開会 10:10

【場所】

札幌市中央区北4条西1丁目1番地

2. 主催者挨拶

北農ビル19階会議室

10:10 10:15

3. 講演

	開始	終了	課題名	発表者	所属
一般1	10:20	10:40	既存牛舎における乳牛の暑熱対策の検討と波及に向けた取り組み	村上 瑞季	釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所
一般2	10:40	11:00	LAMP法を用いたサルモネラ早期検出方法の検討	谷口 有紀子	十勝家畜保健衛生所
一般3	11:00	11:40	新冠牧場におけるヨーネ病対策の歩み	櫻井 健二	家畜改良センター新冠牧場
一般4	11:40	12:00	北海地鶏Ⅲの安定生産を目指した雄種鶏の適正飼養管理法の開発	佐藤 駿	道総研畜産試験場 中小家畜グループ
(昼休み)	12:00	13:00			
特別講演	13:00	14:30	肉用牛における育種改良目標とゲノム情報の利用	廣岡 博之	京都大学大学院 農学研究科
(休憩)	14:30	14:45			
一般5	14:45	15:05	飼料成分を予測するための新しい近赤外分析用検量線の開発～稻ホールクロップサイレージと纖維消化率の検量線～	角谷 芳樹	道総研畜産試験場 飼料生産技術グループ
一般6	15:05	15:25	ホルスタイン種雌牛の離乳後における推奨日増体量達成のための養分摂取量	新宮 裕子	道総研酪農試験場 乳牛グループ
一般7	15:25	15:45	飼料用とうもろこしにおける倒伏リスクと収量性を考慮した栽植様式	今 啓人	道総研畜産試験場 飼料生産技術グループ
一般8	15:45	16:05	オーチャードグラス新品種候補「イコロ」（北海36号）	眞田 康治	農研機構北海道農業研究センター 自給飼料生産グループ
一般9	16:05	16:25	サイレージ用トウモロコシ新品種候補「北交102号」	黄川田智洋	農研機構北海道農業研究センター 自給飼料生産グループ

※変更の可能性があります

4. 閉会 16:30